

柱1 災害を自分事化する

【目指すべき姿】

地域の一人ひとりが、自然災害を正しく理解し、自分の命は自分で守る意識を高め、主体的に防災に取り組む

主体：福祉団体・
福祉関係者

取組みの背景・意義等

【背景】

- 災害時、要配慮者は避難や生活維持に特別な支援を必要とします。しかし、自主防災組織はこうした要配慮者の情報を十分に把握していない場合があり、支援の遅れや混乱が生じる恐れがあります。
- 一方、福祉団体や福祉関係者は要配慮者の状況やニーズを把握していますが、個人情報が含まれているなど、地域では取扱いに配慮が必要な場合があります。

【意義等】

- 平時から自主防災組織等と福祉団体・福祉関係者との連携の仕組みを構築しておくことで、災害時の支援を確実かつ迅速に行えるように備えておくことが大切です。

主な役割と取組み例

【主な役割】

○誰もが災害に備えられる仕組みを整え、要配慮者のニーズを取り入れた防災知識の普及と啓発に貢献

- 地域の関係機関や自主防災組織と連携し、要配慮者のニーズを地域全体で共有することで、誰一人取り残さない地域づくりに寄与します。
- さらに、日頃の相談支援や見守りで把握した状況をもとに、要配慮者等が自分に合った防災の備えを進められるよう助言し、必要な支援につなぎます。

【取組み例】

○支援ニーズの可視化と地域内での共有

- 防災イベント開催に協力し、福祉の視点やニーズを紹介 など

○要配慮者の「自助」を支える備えの提案

- 要配慮者本人や家族に対する福祉視点の備えについての助言 など

柱2 地域の防災活動の実効性をあげる

【目指すべき姿】

地域に属する一人ひとりの防災意識の向上を図り、地域内の連携を促進し、地域住民が互いに助け合い、自分たちの地域は自分で守る

主体：福祉団体・福祉関係者



取組みの背景・意義等

【背景】

- 災害時、要配慮者は避難や避難生活に特別な支援を必要とします。しかし、自主防災組織はこうした要配慮者の情報を十分に把握していない場合があり、支援の遅れや混乱が生じる恐れがあります。
- 一方、福祉団体や福祉関係者は要配慮者の状況やニーズを把握していますが、個人情報が含まれているなど、地域では取扱いに配慮が必要な場合があります。
- また、個別避難計画や福祉避難所運営の前提となるBCPの整備に課題を抱えており、関係機関と連携した体制づくりが求められています。

【意義等】

- 福祉団体・福祉関係者が、誰も取り残さない支援を目指し、福祉の専門性を地域防災に活かし、地域の「共助」体制を強化していくためには、要配慮者の視点を踏まえた支援体制を平時から整えておくことが大切です。

主な役割と取組み例

【主な役割】

○避難所運営訓練や個別避難計画の作成への協力を通じて地域の「共助」の体制構築に貢献

- 要配慮者支援を中心とした活動を通じて避難所運営訓練や個別避難計画の作成に協力するなど地域の「共助」体制強化に貢献するとともに、福祉の専門家が、地域防災の輪に加わることで、誰ひとり取り残さない「共助」の体制構築に寄与する役割があります。

【取組み例】

○要配慮者の状況に応じた計画づくりに必要な事項について助言

- 個別避難計画の作成・更新に必要な事項について学び、地域に助言
- 要配慮者の身体状況に応じた避難方法や必要物品について、地域の理解促進のため情報提供 など

○避難所運営訓練への専門的知見の提供

- 地域の防災訓練に参加し、車いすの移動介助体験などを通じた対応力の向上をサポート
- 避難所について、要配慮者スペースの確保や動線について助言し、誰にとっても使いやすい避難所づくりに協力 など

○包括支援センター・社会福祉協議会等との連携のもとで進めるBCPの作成

取組みの参考となる事例

- ◆ 地区社会福祉協議会が主体となった地域の防災活動
..... P47

柱1 災害を自分事化する

柱2 地域の防災活動の実効性をあげる

柱3 幅広い担い手を育成する

県
市町村
自主防災組織等
学校・教育委員会
事業所等
福祉団体・福祉関係者
地域住民

柱3 幅広い担い手を育成する

【目指すべき姿】

地域防災の中核となり、積極的かつ主導的に活動できる専門的な知識と技能をもったリーダーや担い手を育成する

主体：事業所等／
福祉団体・福祉関係者

取組みの背景・意義等

【背景】

- 事業所や福祉団体・福祉関係者は、日常の業務を通じて専門的な知識や技術が培われており、地域防災においても重要な役割を担う重要な存在です。

【意義等】

- こうした専門性や業種の特性を活かしながら無理のない形で地域防災活動に参画することで、地域の実情に即した防災人材の育成が進み、地域全体の防災力の向上につながります。

主な役割と取組み例

【主な役割】

○業種や専門知識を活かして地域防災に貢献できる、災害対応力の高い人材を育成

- 事業所や福祉分野で働く方々は、業務で培われた知識や技術を生かし、地域防災を支える重要な役割があります。各業種の特徴を踏まえた多様な視点や専門的な知見が地域に広がり、防災の担い手として活躍する多様な立場の人材育成につながります。

【取組み例】

○専門知識を活かした災害対応力の高い人材を育成

- 専門的知見に基づく災害への備えや災害時の行動手順についての習得 など

○地域防災活動への参画を通じた担い手の育成

- 地域の防災訓練への参加や、地域の課題を踏まえた防災に関する協議の場への参画 など